

## 平成24年度県民意見の提出状況について

宮 城 県

平成24年度に行っている石巻港港湾環境整備事業（廃棄物埋立護岸）の公共事業再評価に係る県民意見の提出状況等は、以下のとおりです。

### 記

- 1 意見募集期間  
平成24年11月21日（水）～平成24年12月20日（木） [30日間]
- 2 意見提出方法  
郵便，ファクシミリ，電子メール
- 3 関連情報の提供手法及び周知方法
  - (1) 関連情報の提供手法  
インターネット（県ホームページ）  
県政情報センター（県庁）での公表  
県政情報コーナー（仙台以外の各地方振興事務所及び各地方振興事務所地域事務所）での公表  
宮城県議会図書室での公表
  - (2) 周知方法  
新聞（河北・朝日・読売・毎日・産経）  
12月2日「県からのお知らせ」欄に掲載  
ラジオ  
・Date fm「アラウンド・ザ・ミヤギ」 放送2回  
11月23日，12月17日の放送枠内  
・TBCラジオ「ラジオ県民だより」 放送2回  
11月24日，12月1日の放送枠内  
地上波デジタルデータ放送  
NHKデータ放送「県からのお知らせ」（12月1日～20日）に掲載  
メールマガジン  
宮城県メールマガジン「メルマガ・みやぎ」第430号（11月23日発行）  
に掲載  
チラシ配布  
・県庁総合案内，各地方振興事務所及び各地方振興事務所地域事務所での  
チラシ配布  
・石巻，東松島市役所でのチラシ配布  
・県内コンビニエンスストア（ローソン，ファミリーマート，ミニストップ）  
でのチラシ配布
- 4 意見提出件数  
2件

## 5 提出された意見の概要

	意見の概要
1	<p>東日本大震災は沿岸部を中心に未曾有の被害をもたらし、震災発生から1年9カ月が経過しているにもかかわらず、まだまだ震災前の姿にはほど遠く、本格復旧はこれからである。</p> <p>復旧・復興の足かせとなっており、最初に取り組まなければならないのが、震災ゴミの問題だと思う。まちづくりといっても、この震災ゴミを処理しない限り、前には進めない。</p> <p>この問題をいち早く解決するために、また、産業の復興や特に漁業をなりわいとしている沿岸部の新しいまちづくりを進めるためにも、震災ゴミの処理を早急に進められるよう、埋め立て場所の確保を行うこの護岸工事を早急に実施していただきたい。</p>
2	<p>石巻市などの沿岸地域を訪れることがあり、そこで震災がれきがうずたかく積みまれているのを目の当たりにすると、自然発火や悪臭など衛生面の問題もあり、やはり処理を急がなければならないと実感する。</p> <p>この事業では、震災がれきを受け入れるため、先行してB地区の護岸を整備することのだが、受入量としては十分なのか。処理しきれないのであれば、A地区でも護岸を整備し、受け入れを行ってはどうか。</p> <p>震災がれき処理が順調に進み、復興が成し遂げられるよう期待する。</p>